

科学館、博物館  
または博物館  
実績一を求め

水日目の出町32と36ノ2  
他の約1万平方メートル。総延  
べ床面積は9500平方  
メートル、事業費総額約24  
0億円(債務負担166  
億円と15年間の入館料  
想定約70億円)を想定。  
建設地は、用途地域は  
工業地域で、建ぺい率60  
%、容積率200%、  
高さ制限19メートルとなっ  
ている。  
施設内容は、下限をマ  
イナス5%、上限をプ  
ラス10%としている。交流  
エリア(エントランスロ  
ビー、ミュージアムショ  
ップ、レストラン・カフ  
エ、キッズスペース、そ  
の他)約1700平方メートル、  
展示エリア(常設展示室、  
企画展示室)約3400  
平方メートル、教育普及・研究  
連携エリア(ライブラリ

1、ワークショップ、ルー  
ム、プレセンテーション  
ルーム)約900平方メートル、  
バックヤードエリア(資  
料収蔵庫、水族飼育・治  
療室、魚病検査室、水質  
検査室、展示準備室、資  
料室、作業室など水族館  
バックヤード)約250  
0平方メートル、事務管理エリ  
ア(館長室、職員執務室、  
職員用書庫、コミュニケーション  
ルーム、ボランティア  
ルーム他)約100  
0平方メートル、屋外エリア  
(屋外テラス)適宜。  
市では、事業凍結後、  
東海大学やJAMSTE  
Cなども調整を図りな  
がら、再開支援準備業務  
をパシフィックコンサル  
タンツ(東京都千代田区)  
に委託して進め、早期再  
開を目指していた。

# 測量設計に着手

## 部農林の治山カキン沢

部農林事務所  
(治山調査)  
測量に着手し  
準備(園路  
900万円、  
備・更新(畑  
線農道・仮  
道・高柳水門  
500万円、  
進(河川水位  
システム整  
2万円を充て  
て)

た。松井測量設計事務所  
(島田市)が3月22日納  
期を進めている。  
荒廃した渓流を整備す  
るための測量設計で、溪  
間測量延長500メートルなど

## 港湾事業特会に4億円

### 焼津市の22年度当初予算案

焼津市は、2022年  
度当初予算案の港湾事業  
特別会計に3億9680  
万円を計上した。21年度  
比で3億1210万円の  
減額となった。  
主なものは、港湾施  
設改良事業(航路・海岸  
汀線測量等委託、流木撤

去・航路泊地維持浚渫・  
荷さばき地舗装等工事)  
7255万円、養浜事業  
2409万円、改修事業  
(岸壁防絨材取り付け・  
電気防食・港口部埋没対  
策浚渫工事)4710万  
円、海岸保全施設整備事  
業470万円を充てた。

## 地域NEWS

### コロナ禍の資材 不足配慮を要望

#### 静岡市3団体

静岡建設業協会(市川  
照会長)、静岡市電気設  
備協力会(電設協・磯谷  
敏会長)と静岡市水道局  
指定工事協同組合(鎌田  
幸太郎理事長)は、静岡  
市庁舎を訪ね、官民の受  
注工事の納期遅延などに  
関する理解と対応の継続  
と、事業継続のための支  
援策の創設などに関する  
要望書を手渡した。  
当日は、田辺信宏市長

が不在のため、市からは  
本田武志副市長、宮原晃  
樹都市局長、海野雄建設  
局長、服部憲文上下水道  
局長が対応した。  
市川会長は、新型コロナウイルス感染症の拡大  
により、建築資材や半導  
体不足が顕著な状況を説  
明、「公共官庁工事の現  
場では影響が少ないが、  
民間工事では相当の遅れ  
が見込まれるケースも増  
えている」と話した。市  
の工事については引き続  
き、完了検査などの臨機  
応変な対応を求めると  
もに、「民間工事の遅れ  
は、損害賠償問題に発展  
することも予想される」  
と懸念を表明、「建設産  
業界の事業継続のための  
支援策の創設を国に働き  
掛けてほしい」と訴えた。  
磯谷会長、鎌田理事長  
も、電気、管のそれぞれ  
の業界の実情や懸念を説  
明、理解を求めた。  
これに対し本田副市長  
は、「建設業界は、街づく  
りのパートナーであり、  
われわれからも国に対し  
て発信していくので、今  
後も怠慢(きたん)のない  
意見を聞かせてほしい」  
と応じた。  
また、全圃半島振興市  
町村協議会において副会  
長を務める田辺市長から  
も、副会長という立場か  
ら、地域の建設会社の窮  
状を取り上げていきたい  
とするメッセージが寄せ  
られた。

## 地域貢献

### 清閑町田町線 美化活動行う

#### 第一建設

第一建設(静岡市葵区、  
市川照社長)は、道路サ  
ポーター活動として清閑  
町田町線(あわせ通り)



の美化活動を行い、写  
真、市川社長以下12人が  
参加した。  
対象は、静岡市葵区  
清閑町・幸町間の延長  
750メートル。歩道(インタ  
ーロッキング目地)、樹  
帯の除草、清掃を行っ  
た。  
同社は、社を挙げて社  
会貢献活動に積極的に参  
加しており、道路サポー  
ターの活動としては、2  
021年度6回目となっ  
た。

### 清水区三保地内で カープミラー清掃

#### 橋本組

橋本組(焼津市、橋本  
真典社長)は22日、清水  
区三保地内でカープミラ  
ーの清掃活動を実施し  
た。  
同社は、国土交通省清  
水港湾事務所が発注した  
「清水港外港地区防波堤  
(改良)被覆ブロック製



作工事を担当しており、  
地域貢献活動の一環とし  
て、現場周辺の三保地内  
(三保本町4区自治会・  
塚間地区自治会)の自治  
会長と打ち合わせを実  
施。地元住民の要望など  
から、カープミラーを清  
掃することにした。  
清掃箇所は20カ所で、  
工事に協力してもらった  
住民に感謝を込めて、丁  
寧にカープミラーを拭い  
た。清掃後に三保本町4  
区の櫻田芳宏自治会長か  
ら感謝状を受け取った。写  
真。  
同社は地域貢献として  
清掃活動や出前授業など  
さまざまな活動を実施し  
ている。